

令和5年度男性の家事・育児推進事業 講演会開催報告書

育児・介護休業法の改正により、男性の育児休業取得率が増えることが見込まれますが、単なる「とるだけ育児」にならないようにすることが大切です。

家事・育児の仕方を学んだり、男性の育児経験談を聞いたりして、男性が家事や育児に積極的に参加するきっかけを促すことを目的とし、《子育てを楽しむヒントがいっぱい！家族で遊ぼう・学ぼう！》を開催しました。

【日 時】	令和5年11月25日（土）10:00-15:00
【場 所】	さぬきこどもの国 こども劇場
【対 象】	妊娠中を含めた子育て中のご家族
【参加人数】	165名

この講演会は、子育て中のご家族がお子さん連れで気軽に参加できるよう、出張讃岐おもちゃ美術館を開催しながら、さまざまなコンテンツを用意し、延べ165名にご参加いただきました。

まず午前は、東京おもちゃ美術館ディレクターの岡田哲也さんにワークショップを開催していただきました。親子を次々に巻き込んだ実演で、おもちゃを通した子どもとのかかわり方を楽しく教えていただきました。



同時に、社会保険労務士さん、助産師さん、国家資格キャリアコンサルタントの方による個別相談も開かれ、日々の悩みを個別でじっくり相談していただくことができました。



午後は、「オットの出番！パパの出番！」と題してパネルトークが開かれました。パネラーは香川県池田豊人知事と、日本愛妻家協会の山名清隆さん、小菅隆太さん。よき夫として、パパとして、パートナーをいたわり支え合うためのコツやヒントを話していただきました。



それぞれの育児のエピソードや、ご来場の皆様からの子育てやパートナーシップに関するご質問にもお答えいただくなど、大いに盛り上がりました。

どの家族も悩んだり、迷ったりしながら家事や育児をしているというお話は、子育て真っ只中の参加者の方々へのエールになったようです。



1日を通して、お子さんと一緒に楽しみながら、夫婦でいたわり合い、家事・育児を進めていくことの大切さを改めて感じていただけたのではないかと思います。